



議会だより

たてしな

第132号

平成25年7月17日



立科町消防ポンプ操法・ラッパ吹奏大会
(平成25年6月9日)

発行／長野県立科町議会 編集／議会だより編集委員会

〒384-2305 長野県北佐久郡立科町芦田2532番地 TEL(0267)56-2311 有線2311 FAX(0267)56-2310

E-mail gikai@town.tateshina.nagano.jp URL <http://www.town.tateshina.nagano.jp>

平成25年 第2回定例会

プレミアム商品券発行補助金1120万円

小学校給食棟耐震補強工事2726万円

一般職の給与3%削減 管理職手当10%削減

平成25年第2回定例会が6月6日から17日までの12日間開催。
議案8件、報告2件、同意1件、請願4件を慎重に審議し、原案どおり可決。

条例の制定

◇一般職の職員の給与の特例に関する条例制定
震災復興財源確保のため国の求めにより一般職員の給与月額3%、管理職手当10%を7月1日から平成26日3月31日まで減額する。

条例の改正

◇立科町消防委員会条例の一部改正
消防委員に学識経験者を1名増やす改正。委員は12名以内となる。

平成25年度補正予算

◇一般会計
1,480万3千円を追加して総額40億1,480万3千円。
歳入では、川西赤十字病院への負担金に係る特

一般会計補正予算の主なもの

歳入	
・特別交付税	1000万円
・緊急雇用創出事業補助金	282万円
・地域発元気づくり支援金事業補助金	32万円
・別荘地貸付特別賃貸料	154万円
歳出	
・特別職給与(町長・副町長・教育長)	△400万円
・庁舎改修費(トイレ壁面等)	265万円
・権現の湯 もりもり健康教室(地域発元気づくり支援金事業)	45万円
・農産物新規作物試験栽培、加工品開発事業(緊急雇用創出事業)	282万円
・プレミアム商品券発行事業補助金	1120万円
・観光業務用、ワゴン車、軽トラック	440万円
・白樺高原観光協会補助金	△100万円
・小学校給食棟耐震強度補強工事	2726万円
・歴史民俗資料館解体工事	446万円

別交付税として1,000万円、緊急雇用創出事業補助金282万円等の増額補正。
歳出では、人事異動に伴う給料等や、特別職給与の削減分を補正。
本年度の新たな事業として、事業内容の一部見

◇介護保険特別会計
介護予防二次予防施策事業(あした塾)を一部(社)ハートフルケア

直しが行われる、プレミアム商品券発行補助金1,120万円、小学校の給食棟の耐震補強工事費2,726万円、白樺高原にある歴史民俗資料館の、老朽化に伴う解体工事費446万円等を補正。

同意

◇水道事業会計
人事異動に伴う補正と南平配水地残留塩素計の更新工事費200万円等の補正。
林茂氏(町区)再任 任期3年

訴えの提起

女神湖畔の町有地で土地賃貸借契約を締結してきた「株式会社グランビユー」が、事実上の破綻状態となり、利用不可能なホテル等建物が放置されたままになっているため、町が再利用の検討を進められるように、土地賃貸借契約の解除請求と、賃借権登記の抹消、建物収去、土地明け渡し請求及び、未払い地代の請求について訴えの提起にかかる3議案について全会一致で可決。

討論

賛成

森本 信明
消防委員会条例改正は、委員のうち学識経験者枠の増員で、委員会の組織の充実を図ること。

一般会計補正予算の主な事業歳出は、町の活性化・消費拡大を図る「プレミアム商品券」発行事業への補助金。
白樺高原の観光宣伝と施設管理に活用される車両の更新。
小学校の給食棟耐震補強工事は、小学校の各種行事等での使用施設として維持存続するために、工法・工事費の検討がなされ、実施されること。

報告

◇平成24年度一般会計繰越明許費の報告
平成24年度事業の防災情報通信設備整備事業1,236万5千円と道路舗装事業383万8千円について平成25年度へ繰越。

◇専決処分事項の報告
自動車事故に伴う損害賠償。

賛成

眞輪 修二
一般職の職員の給与の特例に関する条例制定

反対

山浦 妙子
今、政府が行うべきデフレ脱却対策は働く人達の賃上げを求める事である。今回の賃下げは職員93人総額967万8千円、町の税収にして約40万5000円のマイナスとなる。
①政府が賃下げを前提に相当額を地方交付税から削減する事は事実上の強要で、地方自治の介入で土足で踏みこむもの。
②国民の生命、くらし安全を守る財源は国が責任を持って確保するべきものなのにその責任を自治体の人件費を削って賄えと言ふものでは国の責任を投げ出すものである。
地方交付税を国の政策目的達成のための手段として用いる事は地方固有の財源という性格を否定するもので行うべきでない。14年度に向けて注視

賛成

榎本 真弓
東日本大震災の復興財源捻出のため、平成24年4月から平成26年3月まで臨時的措置として国家公務員・国会議員の給与を7.8%引き下げる国家公務員給与削減特例法が成立。この2年間の政府予算給与削減分は、およそ5800億となる。

今回の条例制定は、定数削減や給与の引き下げなど、さまざまな行政改革の努力をしている地方自治体にとって苦渋の決断である。立科町においてもその自治体であるとして高く評価する。復興財源という大きな目的、その財源捻出のための措置ではあるが、町職員の過大な協力の上で成り立つものである。一日も早く被災地の完全復興を願い、今後の日本の発展と立科町の繁栄のために一心に責務を果たすことを誓い賛成討論とする。

請願の審査結果

受理番号	受理年月日	提出者	住所	件名	付託委員会	結論
請願1号	平成25年5月11日	立科町教職員組合 代表 小倉 玲子	立科町	「義務教育費国庫負担制度」の堅持を求める請願	社会文教観光常任委員会	採択
請願2号	平成25年5月11日	立科町教職員組合 代表 小倉玲子	立科町	国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書の提出に関する請願書	社会文教観光常任委員会	採択
請願3号	平成25年5月20日	消費税廃止佐久地区各界連絡会 代表委員 遠藤勇・柏木慶治	佐久市	消費税増税の中止を求める請願書	総務経済常任委員会	不採択
請願4号	平成25年5月20日	全日本年金者組合長野県本部 執行委員長 松澤秀紀 立科支部長 竹花初雄	立科町	年金2.5%の削減中止を求める請願	総務経済常任委員会	不採択

※結論は、委員長報告に対してのもの。

※採択された請願は、国に対してそれぞれ意見書を提出。

総務経済常任委員会

所管 総務課・町づくり推進課・農林課
建設課・会計室・議会事務局

園園

西藤 眞弓
榎池 美佐
小椋 眞二
箕輪 修江
小宮 正儀

本委員会は、6月11日に開催した。質疑の主な内容は次のとおり。

質疑Q&A

◎立科町消防委員会条例の一部を改正する条例

Q 消防団の経験のある委員を1名増やすとの説明だが、どの様な必要性ができたのか。

A 消防団員数が減少する中で、より機動性のある消防団を創つていく必要がある、消防業務に精通している学識経験者を増やしたい。

◎一般会計補正予算

Q 特別交付税1千万円増額の内訳は。

A 当初予算で計上した、川西赤十字病院の運営費補助金1920万円に対するもの。

Q 庁舎改修工事費はどの様な工事か。

A 1階から4階までのトイレのトイレが、経年劣化により剥がれてきているための修繕工事費。

Q 緊急雇用創出事業の事業内容は。

A 新規作物試験栽培事業と加工品開発事業を「たてしな屋」に委託事業として、予算の科目替をした。

Q プレミアム商品券について、内容は決まっているのか。

A 一人当たりの購入限度額の引き下げや、購入手続き、町外者や取扱業者の購入方法などについて、商工会と協議している。発売は8月を予定している。

Q 水保全サミットの負担金とはどのようなものか。

A 佐久の11市町村と東御市で実行委員会を組織して10月5・6日に開催予定。地下水、湧水を公水と位置づける法整備

備を国に求め、全国26市町村の首長とともに、水資源の重要性を全国に発信する催しを計画している。



ワイン用ぶどう茂田井試験栽培地現地調査（6月）

社会文教観光常任委員会

所管 町民課・観光課・教育委員会

園園

土屋 信春
森本 寿美
滝沢 典雄
山宮 昭子
橋本 幸子

本委員会は、6月10日に開催した。質疑の主な内容は次のとおり。

質疑Q&A

◎一般会計補正予算

Q 予防接種経費が減額されたが理由は。

A 日本脳炎予防接種を、高校3年生から中学3年生まで計画していたが、県の指導で中学3年生が除かれたための減額。

Q 保育材料費は運動会の鼓笛隊を編成するための経費とのことだが、音楽教育として通年使用するべきではないか。

A 各種イベントへの参加を計画し目標を持って練習ができるように指導をしていきたい。

Q 歴史民俗資料館について、住民から活用



取り壊し予算が計上された歴史民俗資料館



耐震補強工事が待たれる小学校のランチルーム



児童館



児童館

児童館の施設調査（6月）

○開館 ・平日 245日
・土曜日 48日

○利用状況 2万1,078名（H24年度）
・午前 主に子育て中の母子が中心に利用
・午後 下校後の児童が中心
・児童クラブ 対象者…小学1年～6年生の留守家庭児童等
登録制で下校時より夕方7時まで

子育て支援センター

○開館 ・日曜日 50日 412名利用
○利用対象者 ・小学校入学前の親子

Q 小学校の給食棟の耐震工事に補助事業は活用できないのか。

A 小学校給食棟ランチルームの耐震強度が不足しており、利用を控えていた。補助金は、給食を作る施設の改築であれば対象となるが、耐震補強にはない。夏休み中に工事を行いたい。

Q 観光の公用車の購入にあたってのグレードは。

A 軽トラック・ワゴン車とも低グレード。ワゴン車は、県外へ観光宣伝に行くので、ナビ・ETCは、装備する。

問

安心・安全な立科町水道事業の取り組み状況は

答

温井配水池は建設から50年経過 修繕・更新に向け本格的に調査



田中三江

いつでも蛇口をひねるとおいしい水が飲めるので「もし水がなかったら」などと考える事もない幸いな町。今後使用料の増加見込みが薄い中、施設の整備計画や災害対策は。

町長 山からつなげる事は有効なことだがコストがかかる。大きな計画確かに有効である、将来に向けての研究課題に。 温井配水池の状況は、また、水道利用者から、砂のような物が混じっているという。 建設課長 水源からの流入は日5千t、配水量は日3千t。地下から直接取水、細かい砂が混じると考えられる。定期的に清掃し除去している。

町長 地震等災害時に温井の本管が切断されると水がなくなる。山からも配水管を接続しては。特に宇山地区は停電すると通水されない。あたた

町長 山からつなげる事は有効なことだがコストがかかる。大きな計画確かに有効である、将来に向けての研究課題に。 温井配水池の状況は、また、水道利用者から、砂のような物が混じっているという。 建設課長 水源からの流入は日5千t、配水量は日3千t。地下から直接取水、細かい砂が混じると考えられる。定期的に清掃し除去している。



温井配水池

問

脳脊髄液減少症の周知と研修を

答

各関係機関に周知した 広報で情報を伝える



榎本真弓

町長 脳脊髄液減少症とは、交通事故やスポーツ外傷、転倒などで頭を強く打つなどが原因となり、脳脊髄液が漏れて減少し、脳の機能が低下するため、頭痛・吐き気・けん怠感など様々な全身症状が現れる病気である。外見からわからないため、周りに理解されず本人だけが苦しんでいる現状がある。関係者や関係機関への周知は。

町長 脳脊髄液減少症は、医学会に発表されて10年に満たない新しい病名である。 起立性頭痛・けい部痛・めまい・倦怠・記憶障害・聴力障害・集中力低下・吐き気などさまざまな症状が現れる。この病気が不登校の原因のひとつと考えられるようになって、長野県教育委員会も研修会を行ない今年度から実態調査を始める。 各教育機関、職員に周知したところである。適切な対応に努めていく。 教育次長 昨年9月に県教育委員会から指示があった。校長会・全県の養護教諭の研修会が行われた。保護者への周知はまだ行っていないので、通信などを通じて周知する。町民へは必要なら広報で情報を知らせる。

町長 立科町での報告は。 町民課長 現時点では学校から当該症状の生徒の報告は無い。 対策はブラッドパッチ療法が有効といわれている。入院と検査は保険が適用だが、治療費は保険適用外である。



安全に健康的にスポーツを楽しもう

問

相談窓口の開設は。

答

町民課長 これまで相談ケースは無かったが、看護専門職により一般の相談窓口として受け付ける。 県のホームページに掲載しているため、専門の医療機関に相談するよう紹介する。

町長 職員向上のため研修会の参加は。 町民課長 町として関係職員の研修の充実、たいへん重要と考えている。

問

住民・町外来庁者から、各所管課・各種施設に寄せられるアイデア・クレームについて、

答

各所管課にて対応、役場全体での共有・集約体制は無い。重要な案件は理事者に報告・決裁後に回答



土屋春江

町長 アイデア・クレームは電子媒体・投稿・口頭・アイデアボックス等に数多く寄せられていると思う。クレームに対しては、素早く適切な対応を実施しなければ、その後の対応がさらなるクレームにつながる。対応した職員も予定外の対応で時間を費やすのも業務効率が悪いもの、クレームを減らすことで心理的負担も軽減される。

町長 アイデア・クレームは電子媒体・投稿・口頭・アイデアボックス等に数多く寄せられていると思う。クレームに対しては、素早く適切な対応を実施しなければ、その後の対応がさらなるクレームにつながる。対応した職員も予定外の対応で時間を費やすのも業務効率が悪いもの、クレームを減らすことで心理的負担も軽減される。

町長 アイデア・クレームは電子媒体・投稿・口頭・アイデアボックス等に数多く寄せられていると思う。クレームに対しては、素早く適切な対応を実施しなければ、その後の対応がさらなるクレームにつながる。対応した職員も予定外の対応で時間を費やすのも業務効率が悪いもの、クレームを減らすことで心理的負担も軽減される。

町長 アイデア・クレームは電子媒体・投稿・口頭・アイデアボックス等に数多く寄せられていると思う。クレームに対しては、素早く適切な対応を実施しなければ、その後の対応がさらなるクレームにつながる。対応した職員も予定外の対応で時間を費やすのも業務効率が悪いもの、クレームを減らすことで心理的負担も軽減される。

町長 アイデア・クレームは電子媒体・投稿・口頭・アイデアボックス等に数多く寄せられていると思う。クレームに対しては、素早く適切な対応を実施しなければ、その後の対応がさらなるクレームにつながる。対応した職員も予定外の対応で時間を費やすのも業務効率が悪いもの、クレームを減らすことで心理的負担も軽減される。

問

立科町行政財政改革方針は

答

指針に基づき個々の課題の検討中



森本信明

町長 昨年3月・9月定例会の一般質問の答弁は「行政改革大綱」等の見直しを図っていくとのこと。その後の取り組み状況は。 地域主権一括法で、法的な規制はなくなつたが、町政運営の円滑な推進を図るため「立科町行政・財政改革指針」を策定している。

町長 行政・財政改革方針の骨子と改革推進の指針の柱は。 ① 住民参加と協働の推進 ② 人材マネジメントの改革 ③ 行政経営システムの改革 ④ 財政構造の改革 ⑤ 地方分権改革

町長 基本構想は10年、基本計画は前期・後期の各5年、実施計画は具体的事業で3年。 町長 規定・進捗管理等に

町長 残念ながらクレームがなくなることはない「クレームは必ず起きる」と言うことを大前提として、基本手順を踏まえ職員が一丸となった対応を望む。

町長 残念ながらクレームがなくなることはない「クレームは必ず起きる」と言うことを大前提として、基本手順を踏まえ職員が一丸となった対応を望む。

町長 残念ながらクレームがなくなることはない「クレームは必ず起きる」と言うことを大前提として、基本手順を踏まえ職員が一丸となった対応を望む。

町長 残念ながらクレームがなくなることはない「クレームは必ず起きる」と言うことを大前提として、基本手順を踏まえ職員が一丸となった対応を望む。

町長 アイデア・クレームは電子媒体・投稿・口頭・アイデアボックス等に数多く寄せられていると思う。クレームに対しては、素早く適切な対応を実施しなければ、その後の対応がさらなるクレームにつながる。対応した職員も予定外の対応で時間を費やすのも業務効率が悪いもの、クレームを減らすことで心理的負担も軽減される。

町長 アイデア・クレームは電子媒体・投稿・口頭・アイデアボックス等に数多く寄せられていると思う。クレームに対しては、素早く適切な対応を実施しなければ、その後の対応がさらなるクレームにつながる。対応した職員も予定外の対応で時間を費やすのも業務効率が悪いもの、クレームを減らすことで心理的負担も軽減される。

町長 アイデア・クレームは電子媒体・投稿・口頭・アイデアボックス等に数多く寄せられていると思う。クレームに対しては、素早く適切な対応を実施しなければ、その後の対応がさらなるクレームにつながる。対応した職員も予定外の対応で時間を費やすのも業務効率が悪いもの、クレームを減らすことで心理的負担も軽減される。

町長 アイデア・クレームは電子媒体・投稿・口頭・アイデアボックス等に数多く寄せられていると思う。クレームに対しては、素早く適切な対応を実施しなければ、その後の対応がさらなるクレームにつながる。対応した職員も予定外の対応で時間を費やすのも業務効率が悪いもの、クレームを減らすことで心理的負担も軽減される。

町長 アイデア・クレームは電子媒体・投稿・口頭・アイデアボックス等に数多く寄せられていると思う。クレームに対しては、素早く適切な対応を実施しなければ、その後の対応がさらなるクレームにつながる。対応した職員も予定外の対応で時間を費やすのも業務効率が悪いもの、クレームを減らすことで心理的負担も軽減される。

町長 アイデア・クレームは電子媒体・投稿・口頭・アイデアボックス等に数多く寄せられていると思う。クレームに対しては、素早く適切な対応を実施しなければ、その後の対応がさらなるクレームにつながる。対応した職員も予定外の対応で時間を費やすのも業務効率が悪いもの、クレームを減らすことで心理的負担も軽減される。

総務課長 アイデアボ

総務課長 与え



犯連絡所

白根本郷 町民課長 白根本郷 町民課長

みんなであつた町 立科町合併40周年記念事業

町長 策定の趣旨と位置づけ、視点は。 住民主体の町づくりを、官民一体となり自然環境を守り、産業経済の発展を図りつつ、健康で文化的な生活が営めるよう、更に住民福祉の向上を目指すもの。

町長 策定体制とスケジュールは。 町民アンケート、公募委員を含めた策定委員会等での検討・素案作成。町民公聴会・パブリックコメントの公募。 振興計画審議会への諮問答申。平成26年12月議会での議決を経て、平成27年4月施行の予定。

町長 平成23年に地方自治法の改正によって、基本構想策定の義務がなくなり、議決案件ではない。しかし、基本構想は、最も重要な計画である。条例を制定し、議会の議決を経て策定をしていく。

問 たてしな保育園の交通安全は

答 安全な方法で改修検討進める



宮下典幸

危険箇所と言われる南側駐車場の狭い出入口、県道沿いの見通しの悪いフェンス、北青

木団地からの狭い町道などの改修は。

町長 小学校周辺「仮称、小学校南線」の道路整備に併せ駐車場・歩道等の安全な方法を検討する。フェンスの改修か否かは様子を見、建設事務所等と協議して行く。



町道は地元皆さんと相談し拡幅改良して行く。

問 空き店舗活性化事業補助金創設の提案

答 行政の役割を明確にし 国県補助金の活用も



西藤 努

芦田、女神湖商店街の現状認識は。

町長 近隣市等での補助制の将来的青写真があり、行政の役割を明確にし、政策決定を図りたい。関係機関の補助金の活用もあると考える。



芦田宿通り

町長 立科教育は始まったばかり、結果は2年3年掛かると見込む。職員共通理解のため研修実施、及び計画を推進。

町長 個々の児童生徒の到達度を考慮、基礎力の定着に努める。理解不足気味な児童生徒の目配りと基礎基本の定着に努める。

町長 立科教育プラットフォームによる学校主体性の問題は。

教育長 各学校で抱えていた問題を教育機関全体で共有し住民、関係者の支援協力で解決していくものであり、学校の主体性は侵さない。

問 たてしな保育園の交通安全は

答 安全な方法で改修検討進める



宮下典幸

危険箇所と言われる南側駐車場の狭い出入口、県道沿いの見通しの悪いフェンス、北青

木団地からの狭い町道などの改修は。

町長 小学校周辺「仮称、小学校南線」の道路整備に併せ駐車場・歩道等の安全な方法を検討する。フェンスの改修か否かは様子を見、建設事務所等と協議して行く。



町道は地元皆さんと相談し拡幅改良して行く。

問 空き店舗活性化事業補助金創設の提案

答 行政の役割を明確にし 国県補助金の活用も



西藤 努

芦田、女神湖商店街の現状認識は。

町長 近隣市等での補助制の将来的青写真があり、行政の役割を明確にし、政策決定を図りたい。関係機関の補助金の活用もあると考える。



芦田宿通り

町長 立科教育は始まったばかり、結果は2年3年掛かると見込む。職員共通理解のため研修実施、及び計画を推進。

町長 個々の児童生徒の到達度を考慮、基礎力の定着に努める。理解不足気味な児童生徒の目配りと基礎基本の定着に努める。

町長 立科教育プラットフォームによる学校主体性の問題は。

教育長 各学校で抱えていた問題を教育機関全体で共有し住民、関係者の支援協力で解決していくものであり、学校の主体性は侵さない。

問 高齢者の「3K」健康・経済・孤独から見た新丸中中央病院へのバス乗り入れを

答 状況を考慮し、検討する



山浦妙子

スマイル交通のバス停に、イスと日陰の設置を。

町長 ダイヤに正確な運行をしているので出来るだけそれに合わせた利用を。区、部落等の停留所整備には必要経費の2分の1以内、限度額20万円の補助制度活用。

町長 年齢が高くなるにつれバス利用が出来なくなるので、福祉型デマンドタクシー事業の地域・身体的要因をとりはずし高齢者一般に利用拡大と、町外への利用を求めたい。

町長 マスイル交通の補完的サービスのもの。地域的身体的要因を対象とした利用を理解して利

町長 高齢者の「3K」健康・経済・孤独から見た新丸中中央病院へのバス乗り入れを

答 状況を考慮し、検討する

町長 ダイヤに正確な運行をしているので出来るだけそれに合わせた利用を。区、部落等の停留所整備には必要経費の2分の1以内、限度額20万円の補助制度活用。

町長 年齢が高くなるにつれバス利用が出来なくなるので、福祉型デマンドタクシー事業の地域・身体的要因をとりはずし高齢者一般に利用拡大と、町外への利用を求めたい。

町長 マスイル交通の補完的サービスのもの。地域的身体的要因を対象とした利用を理解して利

町長 マスイル交通の補完的サービスのもの。地域的身体的要因を対象とした利用を理解して利

その情報把握は。町民課長 区長、部落長、民生委員会などで聞いていく。

町長 交差点(ツルヤの所、立科町役場の入口、山部入口)の青信号を高齢者仕様にし、長くできないか。

町長 足の不自由な方が安全に交差点を渡るにはそれなりの時間の確保が必要であり、歩行者の交通事故防止に向けても対応すべき事と考える。警察署に進言していく。

町長 社会の中で高齢者の居場所がなくなっている。その方々に心を寄せた取り組みに町は更に力を尽くして欲しい。

町長 移動町役場で足のない高齢者支援を。町長 地域からの活動要請と共に考える場として職員が地域に伺う、パイプ役としての地域担当がいる。文書の提出等お困り事の類似事象があれば地域担当職員を利用して欲しい。

町長 高齢者弱者の買い物難民対策に町は積極的に関わらるべきだが、



問 索道事業経営改善検討委員会の答申を受けて

答 課題に応じて、分析・調査・検討し改善を図る



橋本 昭

町長 ①発想を変えて、思い切ったテコ入れが必要。マーケティング、経営収支、設備の詳細な調査、検討が欠かせない

町長 ②事業の多角化が必要。ゴンドラ山頂部、センター内の、飲食・販売・その他のサービス事業の検討。③通年型高原リゾートの展開が、スキー場経営を底辺から押し上げることにつながる。④蓼科区・観光協会などを中心とした地域ぐるみの取り組みが必要。⑤継続討議が必要。課題に応じて、より専門的な検討ができる体制づくり。

町長 索道事業の改善、新

町長 索道事業は、課題に

答 課題に応じて、分析・調査・検討し改善を図る

町長 索道事業は、課題に

町長 索道事業は、課題に

町長 索道事業は、課題に

町長 索道事業は、課題に

町長 菜ないる畑が撤退後

町長 菜ないる畑が撤退後

町長 菜ないる畑が撤退後

町長 菜ないる畑が撤退後

町長 菜ないる畑が撤退後

町長 菜ないる畑が撤退後

議会ってなに？

佐藤三恵子
(町 区)

私は議会に二つの事を提起したいと思います。一つは、議員さんの仕事内容がわからない事です。そこで提案です。ある日、ある議員さんの一日を、ドキュメントで放映していただく事は出来ないでしょうか？

一つ目は議会での質問内容です。身近な問題を議員さんが同じ見解で議論してほしいのです。無理によそから集めてきた事を話さなくてもよいと思うのです。

そこで提案です。ボックスの設置はどうでしょう。町民が解決してほしい事を書いて箱に入れる。その声を行政に反映し話し合う。そんなシステムにしたいだけけると、身近な議会を感じ

るし、我々の代表なんだ！

と議員さんに対しての信頼感も取り戻せるように思うのです。議会開催は年に四回あるのでしょうか。その度に新しい議題をさぐり……ではなく、前回に解決されなかった問題を再度とりあげる、それもありません。今まで解決されないでいる問題も多々あるのでは？ 前に向かう…策必要では…と思うのです。

保育園が一つになり、空いている園舎。 中山道声

町かどの声

良質な米の地

山浦 敬信
(細 谷)

豊かな自然がある立科に生まれ育った私は、幼少の頃から父の後をついて畑や田んぼへ付いて行き遊んでいました。もの心ついた頃には農業に関心があり農業大学校をへて、地元JAに入りしました。4年前から地元である立科に戻り、日々の営農指導の業務を行って

います。そんな中で私は立科町の素晴らしさを日々感じながら過ごしています。特に水稲については、単収が多いと言つ事、良食味米の地帯である事この二つが兼ね備わった所は長野県、いや日本中どこを探しても無いと言つても過言ではないと思います。

蓼科山から流れ出る清らかな水、粘土質肥沃な土壌、気候的には年間を通じ降水量が少ない事から病害虫の発生も少なく、また、気温

の日較差も大きい等、お米を栽培する上でおいしい米が育つ要素がたくさんあります。

そんな中で、立科は県下2位の種籾の生産地でもあります。立科にとつておいしい米や、種籾を今後後世に伝承し残していくためには今ある自然豊かな環境、豊富な水資源を壊さないように努めて行くべきだと思います。私としても立科米のより良い物が生産されるために、日々の努力と勉強をし皆さんに伝えたり、自分としても栽培し、多くの

田宿”とは名ばかりで、何の風情もただよっていない街道。休日なのに人影もない女神湖通り。こんな問題が山積みです。

総人口が七千人代になりますます過疎化の進む町、この問題は「いつやるの?」「今でしょ!」ひるむことなく、どんどん行政に反映していただき、人真似でない特色のある町造りへと頑張つてほしいものです。我々の代表なんですから。

皆さんに食べてもらいたいです。



編集後記

T P P 関税全面撤廃なら、県内農林水産物は1029億円減少する。これは県農協グループが試算し、正式に発表されたものです。この数字を見て更に私はT P P 参加反対と大声を出したくなります。その交渉参加が目前に迫っています。T P P 参加反対の請願は当議会でも二度に渡って採択され、意見書が国へ提出されています。地域農業が壊れたら経済の下支えが無くなつてしまいます。春先きの天候不順で凍害被害、水不足による作物への影響等農家の皆さんの特別の御苦労があった事と思われませんが、だからこそ、日本の食料を守るための大きなうねりをつくる事を呼びびかけたいと思います。

山浦 妙子

○今後とも「議会だより」を
ご愛読下さい。

議会だより編集委員会

森本 信明 榎本 真弓
宮下 典幸 山浦 妙子
田中 三江 小宮山正儀